



議会だより

newsletter

月定例会

敦賀市議会 検索



5月18日、プラザ萬象にて、議会報告会を開催しました。

敦賀市議会では、市民の皆様には議会の活動状況を知っていただき、少しでも身近に感じていただこうと平成22年から毎年、議会報告会を開催しています。

7年目となる今回は、3月定例会の審議内容などについての報告、敦賀市議会の役割について説明を行いました。

また、「金ヶ崎周辺の観光について」と題し、意見交換を行い、さまざまな意見をいただきました。今回いただいた貴重なご意見は、今後の検討や議論の参考にさせていただきます。

ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

副議長に和泉氏選出



副議長
和泉 明

定例会初日の6月6日、別所治副議長より辞職願が提出され、本会議にて許可されました。

これに伴い副議長選挙を行った結果、第55代副議長に和泉明議員が選出されました。

目次

- 議会報告会アンケート結果 2
- 決議・行政視察報告 3
- 常任委員会審査報告 4～6
- 特別委員会中間報告 7
- 一般質問 8～12
- 審議結果一覧 13
- 議会日誌、9月定例会の日程 14

議会報告会アンケート結果

ここでは、アンケート結果の一部をご紹介します。
これまでの全ての結果と、報告書についてはホームページで公開しています。

◎実施日・会場 (平成28年) 5月18日(水) プラザ萬象

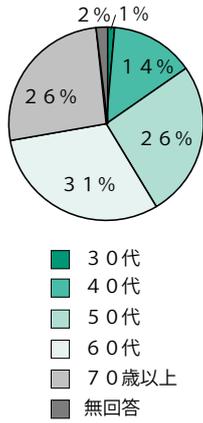
◎実施方法

会場において、報告会開始前にアンケート用紙を配布し、終了後に回収。

◎回答者数 65名

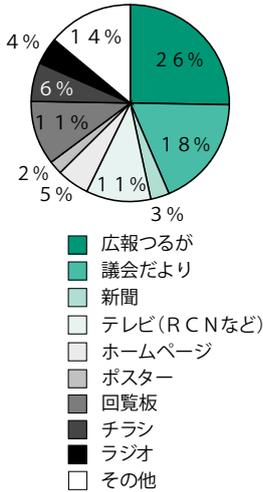
(男性54名、女性10名、無回答1名)

◎年齢

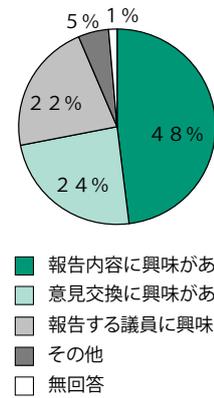


◎議会報告会について

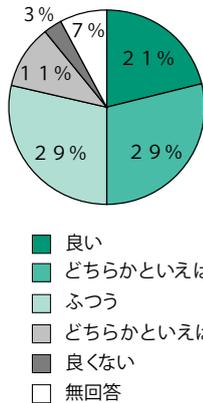
◎議会報告会が開催されることをどのようにして知りましたか？



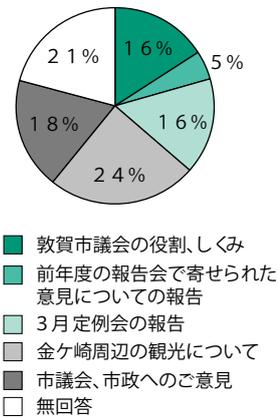
◎議会報告会に参加を決めた理由は？



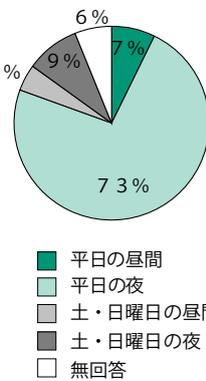
◎今回の議会報告会はいかがでしたか？



◎報告会の内容で良かったものは何ですか？

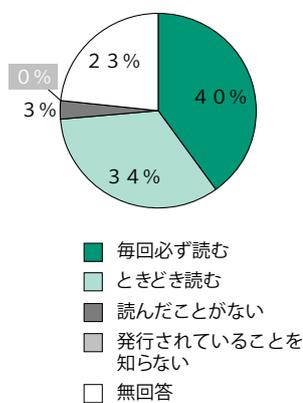


◎議会報告会を開催する際に、参加しやすい日時はいつですか？

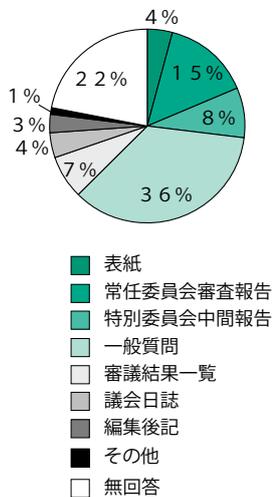


◎議会での広報について

◎年に4回発行される議会だよりを読んだことがありますか？



◎議会だよりの中で好きな記事、楽しみにしている記事は何ですか？



◎議会報告会に関するご意見

・意見交換会の回数をふやすと市民の意見を吸収できる場がふえるので議会活動が市民からわかりやすくなると思う。

・1〜2分でもいいが議員全員の声を聞かせてほしい。

・市民が議会を身近に感じるよい機会だと思う。今後とも、種々意見を取り込みながら、さらに内容の充実した会となることを期待する。

・市民の方からの声が意外と多く出たことはいい。そんな声の全てには応えることはできないだろうが、議員の方は通り一辺の声として聞かず、形に表してほしい。

報告会にご参加いただき、アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

今回お寄せいただいた意見を参考に、次回に向けて準備を進めたいと思います。

決 議

◎北陸新幹線敦賀以西の整備に関する決議

北陸新幹線は、多極分散型の国土づくりを推進し、均衡ある国土の発展に必要な不可欠なものであり、地方創生に資する重要な国家プロジェクトである。また、大規模災害時においては、東海道新幹線の代替機能を果たすなど、日本海国土軸の形成を通じて国土強靱化に大きく貢献することが期待されている。

昨年3月に長野・金沢間が開業し、沿線地域に顕著な開業効果があらわれているところであるが、新幹線などの高速交通機関は終着地点まで整備が完成して初めて真の効果を発揮するものであることから、フル規格による大阪までの整備を着実に実現しなければならない。

敦賀以西ルートについては、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームの北陸新幹線敦賀・大阪間整備検討委員会において、小浜・京都ルート（JR西日本提案）、舞鶴を經由するルート、米原ルートの3案にほぼ絞り込まれ、今後は国の調査結果をもとに与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームがルートを決定的にすることとなっている。

小浜・京都ルートは、旅客流動の多い関西圏に直通するとともに、京都駅を經由することから、本市の産業や観光の振興といった地域経済の活性化に大きく寄与するルートである。

については、次の事項を実現するよう強く求める。

記

- 1 敦賀以西ルートについては、小浜・京都ルートに決定すること。
- 2 小浜・京都ルートを決定的に決定した上で、中京圏との接続性の向上を図ること。

行政視察報告

総務民生常任委員会（5月9日～11日）

総務民生常任委員会では所管する内容について、先進的な取り組みをしている埼玉県さいたま市、茨城県石岡市、静岡県焼津市に伺い勉強してきました。

さいたま市では「公共施設マネジメントの取り組み」について視察しました。

公共施設の52%が30年以上前の建物である現状から、施設の老朽化問題に対する取り組みを加速し、市長直轄の組織である「都市戦略本部行政改革推進部」のもと、計画の実行性確保に向けて、公共施設整備事前協議制度を設け、市民、企業、各種団体との連携による推進が図られていました。

石岡市では「新庁舎建設基本計画」について視察しました。

新庁舎のあるべき姿と必要な機能として、市民の安全・安心を支える防災機能、利用のしやすさと事務効率の向上を目指した窓口高度情報対応機能のほか、バリアフリーとユニバーサルデザイン機能などを掲げていました。

市役所は、市民と行政が一体となり、協働でまちづくりを行うための拠点、シンボルとなるべきであ

ると感じました。

焼津市では「全職員へのタブレット端末配備」について視察しました。

会議資料の作成にかかる作業負担の軽減や、印刷費、紙コストの削減のため、これまで使用していたノートブックパソコンの更新時期に合わせて導入されました。

導入効果として、ペーパーレス会議の実現により、デジタルファイルを参照することで、紙資料が1カ月あたり2,000枚削減されたとのこと。また、タブレットの精細で美しい画面を利用した、窓口説明や通訳サービスなどが実現していました。

行政のコスト削減や市民サービスの向上を図る上で、参考になりました。



常任委員会審査報告

常任委員会は、本会議での議決（最終意思決定）の前に、議案や請願などを詳細に審査する場です。

「予算決算」「総務民生」「産経建設」「文教厚生」の各常任委員会の主な審査の概要について紹介します。

● 予算決算 ● 常任委員会 ●

〔第61号議案〕
平成28年度敦賀市一般会計補正予算（第3号）

質疑

◎ハーモニアスポリス構想策定事業費について

問 道路網整備計画策定に係る調査の一部前倒しとあるが、どういう調査で、どの道路を調査するのか。

答 次年度に計画していたものを前倒したものであり、敦賀高島間、敦賀長浜間の国道8号、国道161号のほか、可能性のある全ての道路について、可能性調査をする。

◎高齢者外出支援事業費について

問 市民福祉会館廃止に伴い、リラ・ポートの利用助成を行う事業とのことだが、どういう形で助成額が支払われるのか。

答 老人福祉バス申請後、その利用人数分の助成額をリラ・

ポートに直接支払う流れである。

◎北陸新幹線まちづくり推進事業費について

問 具体的にとどのような事業なのか。

答 北陸新幹線の敦賀開業に向けた受け皿づくりのため、トレンド動向調査や、北関東、甲信越などでの発地調査などから、新幹線利用者のニーズを捉え、本市の状況を外部から客観的に分析するもの。これらの調査を実施する中で、本市の今後の魅力向上、また、現状を把握してどういう事業展開をしていくのがよいのかといった可能性や有効性につなげていくことを検討する事業である。

自由討議

意見 ハーモニアスポリス構想は、各市町の利害関係が絡んでくるので、敦賀市が先導して、他の市町を巻き込むように進めてほしい。

意見 工事費等は、市内の景況感も見て今後も積極的に予算をつけていただきたい。市内

の業者に仕事を発注することは大事であり、妥当な予算だと思う。

討論

反対 北陸新幹線そのものに反対しており、今回の補正予算でシンクタンクに委託を行いニーズ調査等を行うということだが、新幹線はいらないとこの市民の声を聞かずに、県外の声を聞くために市民の税金を使うことに疑問を感じるため反対である。

賛成

市民生活の維持、向上に必要な防災、福祉の財源確保がなされていることに加え、教育費についても中学校のバリアフリー化を図り、ハンディキャップを持つ生徒が等しく教育を受けることができる点など評価でき、賛成する。

採決

賛成多数
原案どおり認めるべきものと決定

〔第62号議案〕
平成28年度敦賀市港湾施設事業特別会計補正予算（第1号）

質疑

◎荷揚場舗装補修事業費について

問

事業の対象となる港湾内の陥没した場所はどのような状況であったのか。

また、原因は何か。

答

港大橋の横の土地で、少しずつ陥没したところがある。

原因は、土壌中にコンクリート片のようなものがあり、それが弱くなり崩れた関係で、アスファルトの下の土壌も落ち込んだ形になり、陥没したと確認をしている。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

総務民生 常任委員会

【請願第1号】
「非核平和都市宣言」採択についての請願

意見

これまで何度も提出されているが、同じ経緯で

不採択とされている。非核ということだが、敦賀市としてはこれを含んだ平和都市宣言をしているので、採択の必要はない。

意見

原水爆禁止国民平和実行進の意義の中には、「7月の参議院選挙で安倍政権の暴走を食い止め」という文言があり、純然たる思いによるものかどうかという懸念がある。

採決 賛成なし

不採択とすべきものと決定

【請願第2号】
「日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書」提出に関する請願

意見

「核の傘」に依存したえには同意できず、全てを認めることはできないが、これから核廃絶の運動に取り組んでいかなければならないということ踏まえ、趣旨採択としてはどうか。

意見

どの部分を捉えて趣旨採択とするのか、その意図が第三者に伝わるかどうかから

せざるべきである。あやふやにせず、はっきりさせるべきである。

意見

日本の平和が保持されている状況の中で、意見書として提出するべきではない。

採決 賛成なし

不採択とすべきものと決定

※ 趣旨採択とは？



請願の趣旨は妥当であり十分に理解できるが、実現性の面で困難が伴う場合に、便宜的に請願の趣旨のみを採択する決定方法。

産経建設 常任委員会

【第66号議案】
敦賀市手数料徴収条例の一部改定の件
※福井県屋外広告物条例の一部改正に伴う条例改正

質疑

問

敦賀市内で対象となる屋外広告物の件数は、県の試算で77件との説明が本会議であったが、どのような物件なのか。

答

77件は、今回の条例の改正に伴い不適格物件へと変更になる数である。

採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

【請願第3号】
TPP協定を国会で批准しないことを求める請願

※ 批准とは？

国家の代表が署名した条約について、国家がそれに同意する意思を最終的に確認すること。日本では内閣が国会の承認を得て行う。

意見

TPPによって日本の農業が維持できなくなる

という試算は出ているが、それは何も対策を行わなかった場合であり、批准をしないということは国益に反することだと思ふ。TPPの影響より、少子高齢化による影響のほうが大きいと思うので対策を考えていかなければならないと思う。日本のお米や和牛などを海外に免税なしで発信できるシステムが今後は必要だと思ふ。

意見

国益を守るために、日本政府が交渉をして、協定が結ばれたものである。国内で批准をしないことは国益を損ね、国際社会からも批判を受けるものである。批准をしてその後しっかり対策をとっていくべきだと思う。

採決 賛成なし

不採択とすべきものと決定

文教厚生 常任委員会

「第68号議案」

敦賀市民福祉会館の設置及び管理に関する条例の廃止の件

質疑

問 この条例の廃止が可決された後、市民福祉会館はすぐに取り壊すことになるのか。

答

この議案が可決された時点で、売却等の相手先を探すことになる。相手先がない場合は、土地の所有者の意向も聞きながら、取り壊しについての話が出てくると思う。

問

運営しながら売却先を探すか。という選択肢はなかったのか。

答

売却先が見つかった場合、全く同じ施設としての活用はできず、内装の改修に入る可能性もあるため、一旦閉館してから売却先を検討させていただく。

問

施設の老朽化に伴う廃止であるが、建物自体の耐震性を考えたときに買い手がいるのか。仮にいた場合、売却後トラブルにならないか。

答

売却に当たっては、改修、耐震の必要性やコストについて、きっちり説明した上で、相手先を探すことになる。

討論

反対

市民福祉会館は単なる市の福祉の拠点であり、廃止には反対である。

採決

賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

行政視察報告

議会運営委員会 (7月19日～21日)

議会運営委員会では議会の円滑な運営や、身近な議会となるための議会改革に取り組んでおり、ペーパーレス化、タブレット端末導入の先進事例として埼玉県飯能市及び栃木県大田原市に、また決算審査における事業評価について静岡県富士市に伺い、勉強してきました。

飯能市は平成24年度に全国で最初にタブレット端末を導入、大田原市は昨年よりタブレット端末を導入した自治体です。いずれもペーパーレス化による経費削減、議事録、資料等を簡単に検索できることで、議員活動や市民への説明・報告の効率化が図られるなど、導入によるメリットはあるがデメリットと言えるデメリットはない、とのことでした。



実際、その会議システムやスケジュール管理等を含め、情報端末の特性を生かした活用は魅力的ですが、市と議会両方での導入が大前提であり、今後の研究が必要であると感じました。

富士市の事業評価は、決算審査時に全事業の中から議会があらかじめ選定した事業について特に詳細に調査し、拡充や見直し縮小など、議会としての評価を取りまとめ、翌年度の予算に反映をさせるというものです。敦賀市議会でも決算審査の翌年度予算への反映は重要視しており大変参考になりました。



特別委員会中間報告

特別委員会とは、特定の案件について集中的に審査する必要がある場合に、議会の議決によって設置される委員会です。

「原子力発電所特別委員会」「新幹線対策特別委員会」の調査の概要について紹介します。

原子力発電所 特別委員会

その他

質疑

問 県の使用済核燃料税を含む核燃料税の見直しについて、現況はどうなっているのか。

答

5月18日に、県に対し県内原子力発電所立地市町の首長から交付金等の取り扱いについて要請を行った。今後は、今回県議会に上程されている核燃料税条例案の可決後、福井県原子力発電所所在市町協議会として、直ちに課税内容の詳細説明を求めるとともに、交付金についても立地市町の状況等を理解し、十分な措置を講じてもらえるよう要請したい。

新幹線対策 特別委員会

新幹線駅前広場及びアクセス道路の計画について

質疑

問 駅東の新幹線駅前広場と国道8号バイパスを結ぶアクセス

ス道路の高さはどれくらいか。

答

アクセス道路は県と協議している段階である。8号バイパスと同じ高さで、きらめきスタジアムが終わるあたりから、木の芽川を超えるため、高さが上がっていくと聞いている。

問

駅西地区と駅東地区を結ぶ道路は考えていないのか。

答

直接つなぐ道路については検討を行ったが、技術的に難しく、計画はしていない。しかし、全体的な道路網の計画では、環状道路としての位置づけがあるため、新幹線計画に支障がないよう、市道としての協議を進めている。

新幹線駅舎のデザインについて

質疑

問

示されたスケジュールでは、デザインコンセプトがほぼ決定された後にしか議会としての携わりができない。途中途中で、議会としての意向を反映できる場を設定できないか。

答

9月、10月の、デザインコンセプト案を複数案に絞り込んだ段階で、意見を伺う場を作ることを考えている。

サウンディング型市場調査の実施 スケジュールについて

質疑

問

業者に対する市場調査の説明会を開くときには、市が求める条件をつけるのか。また、Aゾーン南側に立体駐車場の設置をする前提で進めるのか。

答

説明会の条件整理は、市の内部で調整をして臨みたい。A、Bゾーン合わせて調査する話もあるが、運営の部分も含め、立体駐車場ありきではなく、今後検討をしていきたい。

※ サウンディング型 市場調査とは？

市有地などの有効活用に向けた検討に当たって、活用方法について民間事業者から広く意見、提案を求め、「対話」を通じて市場性等を把握する調査のこと。

一般質問

6月14日・15日・16日の3日間、20人の議員が一般質問を行いました。

下記の質問項目のうち、1人1項目（太字部分）について要約し、9～12ページに掲載しています。

一般質問 項目一覧

- ◎田 中 和 義 議員
 - 1 ハーモニアスポーツ構想について
 - 2 エネルギー政策について
- ◎北 條 正 男 議員
 - 1 熊本地震の教訓を受けての対応について
 - 2 男女共同参画センターについて
 - 3 ハーモニアスポーツ構想の具現化について
 - 4 ハーモニアスポーツ構想、新幹線、市庁舎などの進め方と組織体制について
- ◎馬 淵 清 和 議員
 - 1 新たな市政運営について
 - 2 金ヶ崎緑地公園周辺整備について
 - 3 筥の川の河川整備計画について
- ◎山 崎 法 子 議員
 - 1 地震災害対策について
 - 2 新生児聴覚検査について
 - 3 若者を含む有権者の投票率向上の取り組みについて
- ◎浅 野 好 一 議員
 - 1 ふるさと納税の推進について
 - 2 敦賀市の防災について
- ◎中 野 史 生 議員
 - 1 ゴミの不法投棄について
 - 2 伝統野菜の保護と生産・消費の普及について
 - 3 戦国武将アニメキャラクターによる交流人口増加と商店街活性化について
- ◎今 地 晴 美 議員
 - 1 学校給食費の公会計化について
 - 2 **マイノリティーに寄り添う敦賀市を目指して**
 - (1) 総合運動公園のバリアフリー
 - (2) 性的マイノリティーに対する文部科学省通達への対応
- ◎大 塚 佳 弘 議員
 - 1 給食の安全、安心について
 - (1) 危機管理対応
 - (2) 学校給食衛生管理基準
 - (3) リスク回避の取り組み
 - (4) HACCP（ハサップ）認証
 - 2 金ヶ崎周辺整備の現状について
 - (1) 赤レンガ倉庫
 - (2) ランプ小屋
 - (3) 人道の港関連事業
 - 3 バス路線の安全について
- ◎前 川 和 治 議員
 - 1 政府機関の地方移転について
 - 2 新しい財源の創出について
 - 3 交通系ICカード（イコカ）の導入について
- ◎石 川 栄 一 議員
 - 1 「道の駅」による地域活性化の推進について
- ◎林 正 男 議員
 - 1 市長の政治姿勢と予算編成について
 - 2 敦賀市役所本庁舎について
 - 3 学校教育と社会教育について
- ◎立 石 武 志 議員
 - 1 原子力行政について
 - 2 人道の港敦賀事業について
- ◎山 本 貴美子 議員
 - 1 高額な医療費等の問題について
 - (1) 限度額適用認定証
 - (2) 高額医療費貸付制度と受領委任払制度
 - (3) 身体障害者手帳4級の方の医療費助成制度
 - 2 原子力防災について
 - (1) 避難行動要支援者の避難計画
 - (2) 広域避難訓練
- ◎別 所 治 議員
 - 1 北陸新幹線の6年後開業を見据えた観光のまちづくりについて
 - 2 立地適正化計画策定事業について
 - 3 災害に強いまちづくりについて
- ◎米 澤 光 治 議員
 - 1 立地適正化計画と「まちづくり」、「むらづくり」について
 - (1) 立地適正化計画とコンパクトシティ
 - (2) 「むらづくり」支援
- ◎豊 田 耕 一 議員
 - 1 住所表示が二重になっている地域の解消について
 - 2 山地の土砂災害、水害を防止する対策について
 - 3 避難行動要支援者名簿台帳の整備について
- ◎原 幸 雄 議員
 - 1 公民館と地域コミュニティ事業のあり方について
- ◎北 川 博 規 議員
 - 1 教育について
 - (1) 総合教育会議と教育大綱
 - (2) 小中一貫教育
 - (3) 教育現場の課題
- ◎福 谷 正 人 議員
 - 1 建築物の耐震問題について
 - 2 政策及び組織のマネジメントについて
- ◎堀 居 哲 郎 議員
 - 1 熊本地震後の敦賀市防災計画、対策について
 - 2 国道8号空間活用整備の進捗状況について

教育

教育について

北川 博規

問

教育大綱の基本方針(3)に示された「地域の伝統行事への支援など、有形無形の歴史文化資産を確実に保護して」とあるが、それに対する具体的な考えを問う。

答

指定文化財となつている伝統行事や祭礼など民俗行事については、その保存団体に対し、次世代への継承に向けた活動に補助を行っている。また、城跡などの形のある文化財を保存していくため、保存会などの活動を支援するとともに、確実に継承できるように実効性のある保存や活用を進めていきたい。

給食の安全、安心について

大塚 佳弘

問

食の安全、安心として学校給食における「学校給食衛生管理基準」から、敦賀市学校給食の衛生管理、最近の近隣市町での食中

毒事案からの危機管理対応、リスク回避の取り組み、HACCP認証等についてお聞きする。

答

毎日、給食センター対応基準マニュアルに基づき、職員、調理・配送委託業者各自で健康チェックをし、施設の衛生管理を行っている。また、例年11月から3月に実施のノロウイルス対策の消毒と手洗い等の衛生管理の徹底を指示した。HACCP認証は、設備の基準を満たしていないので申請を見送っている。

※ HACCP (ハサップ) とは?

食品の製造・加工工程の段階で発生のおそれがある危害を分析し、重要管理点を定め、これを連続的に監視することにより製品の安全を確保する衛生管理の手法のこと。

行政・財政

政府機関の地方移転について

前川 和治

問

政府機関の地方移転については、全国で34機関の地方移

転が決定しており、そのうち福井県の4機関の政府機関誘致は全国トップである。敦賀市としても、政府機関の地方移転に積極的に取り組んでいたが、どのような政府機関の誘致をするのか質問する。

答

政府機関の敦賀移転は、独立行政法人理化学研究所の移転を提案している。本市のエネルギー都市であるという特性を生かし、今回の理化学研究所の誘致も含め、エネルギー関係の政府関係機関の誘致等にも今後も引き続き積極的に取り組んでいく。

政策及び組織のマネジメントについて

福谷 正人

問

平成27年度決算見込みにおいて、例年より約10億円多い黒字分ほぼ全てを基金に積んでいる。現時点でいつ必要かも決まっていない基金に積むより財政が厳しいと削減した事業の復活や、市内経済活性化のための財政出動に回すべきではないか。

答

各基金へは今後の財政需要への対応等を見据え、長期的な視点に立ち、積み立てを決定した。庁舎耐震化も中期財政計画には入っていないが25%の一般財源が必要である等、どうしても今積まなくてはいけないと感じている。

若者を含む有権者の投票率向上の取り組みについて

山崎 法子

問

投票率アップのため、有権者が投票しやすい環境を整備し、投票機会の利便性の向上を図ることが重要。ホームページによる広報、転倒防止のためのスリッパ履きかえ廃止、期日前投票所を増設など、今後の対応について伺う。

答

投票率向上に向けたさらなる取り組みが必要であるとの観点から、今後は平常時から選挙広報用の常設サイトを市のホームページ上に設置する。また、20力所は土足のまま投票できるようにする。投票所については期日前投票所の増設も含め整備に努めていきたい。



ふるさと納税の推進について

浅野 好一

問

近年、全国的に「ふるさと納税」の金額、件数が増加しているが、当市では、特に件数が伸びていない。PR不足や返礼品の違いもあるが、今後、現在の「宝箱」以外の返礼品も考えていくのか伺う。

答

国においても換金性の高い返礼品の抑制への動きが本格化する中、7月からは民間の専門大手ホームページに掲載するなど周知活動を強化し、その結果を踏まえ、他の市町のような取り組みに移行するのかを慎重に判断する。

住所表示が二重になっている地域の解消について

豊田 耕一

問

渕上市長自身のマニフェストでもある「住所表示が二重になっている地域の解消」について、市長も多くの市民の声を聞いていると思う。市長の所見を伺う。

答

住所表示が二重になっている地域について、市民の利便性を向上させるために解消したいという思いは変わっていない。変えることに対して、各町内の皆さんがいよいよということになれば予算をついて変えることはできる。

ハーモニアスポーツ構想について

田中和義

問

本構想は物流や交流だけでなく、防災や市民の生活・命を守る意味でも8号バイパス整備や161号拡幅工事との連携で進め、避難・制圧道路でもあることを国等に働きかけ、実現性とスピードを高め、市民の認識も深める必要があると思うがどうか。

答

ハーモニアスポーツ構想は打ち出して始まったばかりなので、いろんな可能性を探っていく新たな試みでもある。国道整備や拡幅工事に防災の観点からも国に働きかけるといった議員の意見も勘案し進めていきたいと思う。

市長の政治姿勢と予算編成について

林 正男

問

事業の見直し、廃止の中で、野球フェスティバル開催費60万が廃止となっていた。この大会は敦賀市長旗争奪高校野球として始まり今年で50年になる。24年前に小学生も含めての大会になった。6月補正で予算を盛ったが、予算編成の段階で見きわめ、当初予算を組むべきではないか。

答

今年度の当初予算編成時は、全事業をゼロベースで見直しを行うといった手法をとった。多くの事業を限られた時間の中で検討を進めたという状況の中、検討が不足してしまった。今後については、当然のことながらこういったことを繰り返さないように、しっかりと慎重かつ丁寧な検討、庁内での議論、そして結果としての判断といったことを行っていきたいと思っている。



公民館と地域コミュニティ事業のあり方について

原 幸雄

問

市長の選挙公約「市民が主役のまちづくり」は、市内各公民館を拠点とした地域コミュニティ事業が開始してこそ実現していくと考えるが、今後の公民館のあり方について市長はどのような構想を持っているのか伺う。

答

今年度は栗野地区にてモデル事業を進めているが、今後時間をかけて敦賀モデルのコミュニティ事業を確立し、他の地区でもコミュニティ事業を進めるためのスタイルを見きわめていきたいと思っている。

立地適正化計画と「まちづくり」、「むらづくり」について

米澤 光治

問

都市周囲の「むらづくり」も重要なことだと考えるが、「まちづくり」に比べると「むらづくり」には行政的なサポートが少ないうように思える。「むらづくり」を

支援するような行政の取り組みについて伺う。

答

現在は地区からの要望等を受け、関係部署がマスタープランや事業方針との整合性を精査しながら事業等を実施している。また、むらづくりに資する事業としてハーマニアスポリス構想や、コミュニティ事業に取り組んでいる。

※ 立地適正化計画とは？

居住機能や医療・福祉・商業、公共交通等のさまざまな都市機能の誘導により、都市全域を見渡したマスタープランとして位置づけられる市町村マスタープランの高度化版。

観光まちづくり

国道8号空間活用整備の進捗状況について

堀居 哲郎

問

約6年半後の北陸新幹線開業を見据えた受け皿づくりの

一貫である国道8号空間活用整備事業（白銀（曙区間）の整備進捗状況について伺う。

答

4月から5月に地元説明会を行い意見収集・交換を実施し、整備事業についてアンケートをとった。地元地域参加者の約7割以上の方が整備事業に対し前向きな回答であり、平成29年着工を目指し今後詳細な図面の作成をすすめていく。

北陸新幹線の6年後開業を見据えた観光のまちづくりについて

別所 治

問

これからの敦賀の観光地は、「金ヶ崎周辺整備構想」にかかると考える。中でも、人道の港、杉原千畝氏の功績でユダヤ難民の人がおりたとされるところは、敦賀しかないオンリーワンと言えるところ。今後の取り組みについて伺う。

答

この土地は福井県の敦賀港湾事務所が管理しているが、市としては、上陸地点は人道の港の始まりの場所と認識している。ARアプリでそこへ行けば、当時の風景

が出るようにしており、今後は、PR及び案内方法を検討していく。

金ヶ崎緑地公園周辺整備について

馬淵 清和

問

JR敦賀港線を県と共同で利活用することが実現するならば、線路をめくらず機関車や客車などを展示してはどうか。市民団体の中では、本町第3公園のSLを緑地公園内に移動するという計画もあり、市も協力しながら公園の整備を進めるべきではないか。

答

蒸気機関車を走らせることや移設することについては大きなコストが発生するため、県や関係機関と十分連携を図った上で判断したい。また、市民団体等との協力体制ということに関しては協働を望んでいる。

「道の駅」による地域活性化の推進について

石川 栄一

問

敦賀インターをおり、国道8号バイパスを南下した吉河

交差点の付近は、いずれ北陸新幹線敦賀駅取りつけ道路となる。この取りつけ道路沿いが「道の駅」の設置に適していると考えるが、所見を伺う。

答

広域的な観光客等の取り込みにおいて情報発信や誘導機能は非常に重要であると認識している。今後、駅東口取りつけ道路を含む駅東計画が進められる中で、駅西と駅東の役割分担を踏まえ研究していきたいと考えている。



人道の港敦賀事業について

立石 武志

問

6千人のユダヤ難民を助けた杉原千畝氏の功績事実の舞台である我が敦賀港を欠かしてはならない。4月より人道の港発信室が発足したが、この取り組み状況及びノベルティグッズ、リング型タオルの販売を提案するが見解を問う。

答

発信室では、杉原サバイバー関係者の受け入れや、伊勢志摩サミットで人道の港敦賀リング型タオルを各国代表団、国内外プレス関係者に配付し、世界に人道の港敦賀のPRを実施した。現在、リング型タオルは非売品となっており、今後の活用策については、既に販売の是非も含めて単価設定など、関係機関と協議を行っているところである。

医療・福祉

高額な医療費等の問題について

山本 貴美子

問

高額療養費受領委任払制度は、高額療養費として支給される金額を国民健康保険から直接医療機関へ支払う制度で、被保険者が医療機関の窓口で支払う医療費は、自己負担限度額のみで済む。敦賀市でも、ぜひ制度化すべきではないか。

答

本市としては高額療養費貸付制度を実施している。一部自治体で受領委任払制度を実施しているところがあるが、国において推進を図る兆しはなく、県内で実施し

ている自治体もないため、現段階では実施する予定はない。

マイノリティーに寄り添う敦賀市を目指して

今大地 晴美

問

文部科学省の「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」の通知から1年が経過した。「性的マイノリティー」とされる児童生徒の受け入れについて、教育長の見解を問う。

答

この件については、お話しすればするほど個人情報につながる部分が出てきて、例えば個別の案件について、お話をせざるを得ないような状況にもなるので、答弁は控えさせていただきたいと思っている。

環境・防災

ゴミの不法投棄について

中野 史生

問

郊外にテレビや冷蔵庫など大型家電が捨てられている。

警察との連携や、県や国等への報告はどうなっているのか。

答

警察へは、現場確認をして投棄者が特定できるものであれば適宜通報している。また、毎年、公害苦情調査として県を通じて国に、不法投棄の場所、投棄物、現場の状況、処理、対応を詳細に報告している。

熊本地震の教訓を受けての対応について

北條 正

問

庁舎建てかえとなれば、防災拠点、まちづくりの拠点、多方面の検討が必要に思う。市長としての進め方、財政との検討も重要な課題と思うが市長の所見を伺う。

答

防災拠点として考えた場合、防災センターと消防本部のある現市役所が拠点になり、まちづくりの拠点として考えれば、中心市街地を含めた市有地が候補地として考えられる。いずれにしても、基本設計などスピード感を持って検討を進めていきたい。

請願・陳情は

どなたでもできます

請願・陳情とは……

市政について、市民の皆さんが直接市議会に意見や要望できる制度です。紹介議員を必要とするものを請願、紹介のないものを陳情といいます。

提出期限は、各定例会の告示日（開会日の1週間前）の前日、午後5時です。

※陳情は、議会運営委員会において協議し、左記の該当要件（*）により請願に適合していると判断された場合、請願と同じ取り扱いとなり、審査することになります（それ以外は写しを全議員に配付）。

*該当要件

- ・敦賀市または本議会の権限に属するもの。
- ・公益的性格を有するもの。
- ・その他議会運営委員会が必要と認めたもの。

【書式例】

年月日

請願（陳情）書

敦賀市議会議長 殿

紹介議員（請願のみ）

住所 ……………

氏名 ……………

……………について

請願（陳情）趣旨

……………

請願（陳情）事項

1 ……………

2 ……………

審議結果一覧

平成28年第2回定例会では、平成28年度各会計補正予算案4件、条例案4件、一般・人事議案3件、報告議案14件、議会提出議案1件、請願3件が審議されました。
各議案等の審議結果については、次のとおりです。

市長提出議案

1 予算

件名	付託委員会	結果
平成28年度敦賀市一般会計補正予算（第3号）	予算決算	可決
平成28年度敦賀市港湾施設事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成28年度敦賀市産業団地整備事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
平成28年度市立敦賀病院事業会計補正予算（第1号）	予算決算	可決

2 条例

件名	付託委員会	結果
敦賀市議会議員及び敦賀市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正の件	総務民生	可決
敦賀市手数料徴収条例の一部改正の件	産経建設	可決
敦賀市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正の件	文教厚生	可決
敦賀市民福祉会館の設置及び管理に関する条例の廃止の件	文教厚生	可決

議会提出議案

件名	付託委員会	結果
北陸新幹線敦賀以西の整備に関する決議の件	—	可決

請願・陳情

件名	付託委員会	結果
「非核平和都市宣言」採択についての請願	総務民生	不採択
「日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書」提出に関する請願	総務民生	不採択
TPP協定を国会で批准しないことを求める請願	産経建設	不採択

3 一般・人事案件

件名	付託委員会	結果
新たに生じた土地の確認の件	産経建設	可決
字の区域の変更の件	産経建設	可決
敦賀市固定資産評価員の選任につき同意を求める件	—	同意

4 報告

件名	結果
専決処分事項の報告の件（平成27年度敦賀市一般会計補正予算（第8号））	承認
専決処分事項の報告の件（平成27年度敦賀市国民健康保険（事業勘定の部）特別会計補正予算（第4号））	承認
専決処分事項の報告の件（平成27年度敦賀市産業団地整備事業特別会計補正予算（第4号））	承認
専決処分事項の報告の件（平成27年度市立敦賀病院事業会計補正予算（第4号））	承認
専決処分事項の報告の件（平成28年度敦賀市一般会計補正予算（第1号））	承認
専決処分事項の報告の件（平成28年度敦賀市一般会計補正予算（第2号））	承認
専決処分事項の報告の件（敦賀市市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例）	承認
専決処分事項の報告の件（行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例）	承認
専決処分事項の報告の件（損害賠償の額の決定及び和解）（5件）	報告のみ
繰越明許費繰越計算書の報告の件（平成27年度敦賀市一般会計）	報告のみ

議会日誌

平成28年3月23日以降の主な議会活動の紹介です。

26日(土) 嶺南市町議長会議員合同説明会
28日(月) 議員説明会、広報広聴委員会

20日(水) 新幹線対策特別委員会市内現地視察
広報広聴委員会、議員説明会

9日(月) 総務民生常任委員会行政視察(〜11日)
12日(木) 広報広聴委員会
18日(水) 議会報告会
30日(月) 議会運営委員会

6日(月) 全員協議会、本会議(6月定例会開会)
議会運営委員会、各派代表者会議
産経建設常任委員会、新幹線対策特別委員会
7日(火) 予算決算常任委員会全体会・分科会
14日(火) 本会議(一般質問)
15日(水) 本会議(一般質問)
16日(木) 本会議(一般質問)

17日(金) 総務民生・産経建設・文教厚生常任委員会
20日(月) 原子力発電所・新幹線対策特別委員会
21日(火) 文教厚生常任委員会
予算決算常任委員会全体会(補正採決)
議会運営委員会、広報広聴委員会
24日(金) 議会運営委員会、全員協議会
本会議(6月定例会閉会)

7日(木) 広報広聴委員会
15日(金) 議会運営委員会
19日(火) 議会運営委員会行政視察(〜21日)

1日(月) 広報広聴委員会
10日(水) 文教厚生常任委員会所管事務調査
(市内現地視察含む)

敦賀市議会ホームページにアクセス!

敦賀市議会 検索

以下のような情報を公開しています

- ・過去(平成22年から)の本会議の映像
定例会ごと、議員ごとに見られます
会期中は本会議の中継も行います
- ・議員について
顔写真、連絡先、所属党派や委員会
- ・議会について
会期日程、審議結果、意見書
- ・議会報告会について
アンケート結果、会場ごとの報告書
- ・議会だより
バックナンバーはホームページで公開

議会報告会の報告書なども公開中!

9月定例会の日程(予定)

議会を傍聴される方は、
当日、市役所5階の議会事務局へお越しください。

9月6日(火)本会議! 議案の説明・質疑

7日(水)委員会・予算決算常任委員会

14日(水)本会議! 一般質問

15日(木)本会議! 一般質問

16日(金)本会議! 一般質問

20日(火)委員会・常任委員会
(総務民生・産経建設・文教厚生)

21日(水)委員会・特別委員会
(原子力発電所・新幹線対策)

23日(金)委員会・予算決算常任委員会

28日(水)本会議! 委員長報告・討議及び採決

! 本会議は、午前10時から

テレビ中継とインターネット中継を予定しています。

編集後記



敦賀もまだまだ暑い日が続いておられます。市民の皆様はいかがお過ごしでしょうか。いつも議会だよりをお読みいただき本当にありがとうございます。

6月議会も補正予算案をもとに防災対策、教育政策、まちづくりなどさまざまな議論をさせていただきました。議会としては、常に市政が市民生活の改善につながるよう議会活動に全力で努めてまいる所存です。

市民の皆様が敦賀まつりなどこれから迎える敦賀の秋を存分に楽しまれることを心より願いながら筆を置きます。

広報広聴委員会

- 委員長 米澤 光治
- 副委員長 福谷 正人
- 委員 今大地 晴美
- 委員 大塚 佳弘
- 委員 北川 博規
- 委員 浅野 好一
- 委員 堀居 哲郎
- 委員 前川 和治

発行：敦賀市議会
住所：敦賀市中央町

2丁目1番1号
電話：22-8157

Eメール：gikat@ton21.ne.jp